

## 産地情勢 (2023.9.7)

米国産とうもろこし

成育進度は成熟期 18% (平年 16%) となっている。(9月6日)

米国産大豆

成育進度は着鞘期 95% (平年 94%) となっている。いよいよ単収を決定づけるを迎える。  
(9月6日)

ブラジル産とうもろこし

ブラジル国家食糧供給公社は 2022/23 年産の生産見通しを 131.9 百万トンに 1.9 百万トン増加させた。(9月7日)

クロープ カレンダー		作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・ コーン (夏作)		8-9月	11-12月	2-5月	22%	主に国内 飼料需要 向
サファナ・コーン (冬作)		1-3 月上 旬	4月	6-8月	76%	輸出の中 心 大豆収穫 後に作付

ブラジル産大豆

ブラジル国家食糧供給公社は 2022/23 年産の生産見通しを 155.7 百万トンで変化なしと発表。(9月7日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープ カレンダー	9月-12月初 め	1月	1月-4月

アルゼンチン産とうもろこし

収穫は 58%進捗 (平年 69%) した。ブエノスアイレス穀物取引所は 22/23 年度の生産見通しを 34 百万トンで変更なし。(7月19日)

9~10月に作付したとうもろこしが一番 12月から1月初めの高温乾燥の影響を受けた。天候が今後回復すれば、その後策付けたとうもろこしの単収は改善するだろう。(2月15日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は2段階に分かれる。	9-11月始め	12-1月	3-4月
	12-1月	3-4月	6-7月

#### アルゼンチン産大豆

収穫は87%進捗（平年96%）したが、単収はかなり悪い。フエンスアイレス穀物取引所の22/23年度の生産量予測は22百万トンで据置。（6月7日）

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープカレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

#### 米国農務省生産量予測（8月11日）

とうもろこし

（百万トン）

	2021/22	2022/23	2023/24
米国（9-8月）	382.9	348.8	383.8
ブラジル（3-2月）	116.0	135.0	129
アルゼンチン（〃）	49.5	34.0	54

- ・米国は2023/24年度の実生産量が5.4百万トン減少した。単収が前月比2.4ブッシェル/エーカー減の175.1ブッシェル/エーカーとなった。期末在庫率は15.3%に0.32%悪化した。
- ・ブラジルの2022/23年度の実生産量が2百万トン増加した。

大豆

（百万トン）

	2021/22	2022/23	2023/24
米国（9-8月）	121.5	116.4	114.5
ブラジル（2-1月）	130.5	156.0	163
アルゼンチン（4-3月）	43.9	25.0	48

- ・米国は2023/24年度の実生産量が8.2百万トン減少した。前月比1.1ブッシェル/エーカー減の50.9ブッシェル/エーカーとなった。期末在庫率は5.76%に1.26%減少した。

\*北半球の穀物年度は21/22の場合、2021年の月から始まるが南米は2022年の月から始まる。（USDA）